

製品安全データシート

製品名：NEUTRAFILM R100<スプレー>

作成：2011年11月29日

1. 製品及び会社情報

製品名：NEUTRAFILM R 100 <スプレー>

製品コード：2421

MSDS整理番号：

会社名：旭エンジニアリング株式会社

住所：〒553-0002 大阪府大阪市福島区鷺洲4-4-3

担当部門：管理部

電話番号：06-6452-5811

FAX番号：06-6452-5770

緊急連絡先：旭エンジニアリング株式会社・営業部、管理部

緊急連絡電話番号：06-6452-5811

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

成分(CAS NO.): PRTR法・安衛法

成分	CAS 番号	PRTR 法	安衛法
硫化バリウム/硫化カルシウムの混合物	64742-48-9	非該当	公表
アルキールアミンリン酸塩	80939-62-4	非該当	公表
精製鉱油	64741-88-4	非該当	公表
イソヘキサン	107-83-5	非該当	公表
LPG	74-98-6	非該当	公表

3. 危険有害性の要約

引火性液体、飲み込んだ時有害

4. 応急措置

- 目に入った場合 拭き取り、直ちに多量の水で洗眼し、もし異常を感じた場合医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合 汚染された服を脱ぎ、触れた部位を水と石鹼で洗い流す。もし、皮膚に炎症が生じた場合は医師の手当てを受ける。
- 吸入した場合 患者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努める。また、速やかに医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 嘔吐させずに直ちに医師の手当てを受けること。

5. 火災時の措置

- 消火方法 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。また、延焼のおそれのないよう放水で周囲のタンク、建物等の冷却をする。風上から消火活動をし、場合によっては呼吸用保護具を着用する。
- 消火剤 粉末、二酸化炭素、泡、水スプレーが有効である。

6. 漏洩時の措置

- ・付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
- ・作業の際には必ず保護具（無浸透性手袋、安全眼鏡等）を着用する。
- ・風下で作業をしない
- ・少量の場合は、土砂等で吸着させて空容器に回収する。その後、多量の水で洗い流す。
- ・大量の場合は、漏洩した液は、土砂等でその流れを止め、安全な場所に導いた後、液の表面を泡等で覆い、できるだけ空容器に回収する。液が河川等に排出されないように注意する。

7. 取扱い及び貯蔵上の注意

取扱い

- ・吸引また眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。
- ・蒸気の発散をできるだけ抑える。
- ・容器を密封し、または局所排気装置を設置する。
- ・高温物、スパーク、火災を避け、強化剤との接触を避ける。
- ・容器を転倒、落下、衝撃を加え、引きずる等の乱暴な取扱いをしないこと。
- ・使用済みの空容器は一定の場所を定めて集積する。

貯蔵

- ・保管場所で使用する電気機器は防爆構造とし、機器類はすべて接地する。
- ・製品の品質維持のため容器は高温・直射日光を避け、冷暗所に密閉して貯蔵する。
- ・ボイラー等熱源付近や可燃物の近くに置かない。
- ・酸化性物質、有機過酸化物と同一場所に置かない。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 室内の取扱いは発生源の密閉化を行うか、又は局所排気装置を設置する。取扱い場所付近に安全シャワー、洗眼、うがい、手洗い装置を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

手の保護具	耐油性保護手袋
目の保護具	ケミカルゴーグル（液の飛散があるときは、さらに顔面覆いの防災面を着用）
皮膚及び身体の保護具	耐油性保護衣服、耐油性保護長靴、耐油性前掛け

9. 物理／化学的性質

外 観	褐色液体
臭 気	無臭
引火点	－ 3 0℃（スプレー） 3 5℃以上（原液）
比 重(1 5℃)	0.8 5 0 kg/m ³
蒸気圧(3 8℃)	0.6 KPa
水溶解性	不溶

10. 安全性及び反応性

安定性	通常条件では安定。
避けるべき条件	熱、火気厳禁。
避けるべき物質	酸化性物質、有機過酸化物を避ける。

11. 危険有害性情報

GHSラベル要素：シンボル；



注意喚起語

危険

成分：鉱油、プロパンガス

加圧ガス；熱すると爆発のおそれ

皮膚刺激、眼刺激

発ガンのおそれ

飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ

極めて可燃性・引火性の高いガス

眠気又はめまいのおそれ

12. 環境影響情報

分解性 データなし

蓄積性 データなし

13. 廃棄上の注意

- ・廃棄は焼却により行う。その方法はいずれかによる。
 1. 焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。
 2. 少量の場合はケイソウ土等に吸収させて解放型の焼却炉で焼却する。
- ・これを含む排水は活性汚泥当の処理により清浄してから廃棄する
- ・産業廃棄物は知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
- ・投棄禁止。

14. 輸送上の注意

注意事項

- ・堅牢で容易に変形しない容器に入れ、漏れないことを確かめ、輸送。
- ・運搬に際しては転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
- ・その他、消防法に定めるところに従う。
- ・ UN No. 1950

15. 適用法令

- ・消防法 危険物第4類第1石油類（不水溶性液体）、危険等級Ⅱ。
- ・高圧ガス法 高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険な為、下記の注意を守ること。
 1. 炎に向けて使用しないこと。
 2. ストープやコンロ等、火気の付近で使用しないこと。
 3. 火気を使用している室内で大量に使用しないこと。
 4. 温度が40℃以上になるところに置かないこと。
 5. 火の中に入れていないこと。
 6. 使い切って捨てること。

16. その他の情報

本製品安全データシート（MSDS）は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、MSDSの中の注意事項は通常の手扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、当社はMSDS記載内容について充分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。